

「第7次水質総量削減の在り方について」に対する 意見募集の結果まとまる 環境省



環境省は、平成22年3月2日から3月15日の間に行った、「第7次水質総量削減の在り方について(案)」に対する意見募集について、結果をとりまとめました。のべ意見数は28件で、この結果を受け、中央審議会より3月31日(水)に答申がなされています。

内容としては、水環境を評価するための指標として、新たに底層D0(溶存酸素量)や透明度などの基準化も見据えた検討を行うべきであるとしています。そこで中央環境審議会水環境部会では、これまで「在り方」の検討を進めてきた総量削減専門委員会を廃止し、新たに総量規制基準専門委員会を発足させ、環境基準設定に向けた具体的議論を開始する予定です。

当社では、水質総量規制指定項目であるCOD、窒素、リンを始め、水質分析について多くの実績と経験があります。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2010年4月1日付 環境省報道発表資料
2010年4月7日付 環境 goo HP

無機分析箇所 清水いより

